

教科用図書採択参考資料綴り

教科名 音楽

調査研究報告書

(小委員会名： 音楽)

1. 調査研究の経過及び内容	<p>□6月19日～7月11日までの期間に、各委員が以下の内容について、調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・学習指導要領音楽の各学年の目標や領域、内容等の関連について、編修の趣意書や内容解説書などを基に、各教科書の特色について調査研究を実施した。 <p>□7月5日に個別の調査結果を持ち寄り、研究協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・編修の基本方針や強化目標を具現化するための工夫、内容の程度や教材の系統性、表現教材と干渉教材の関連性、共通事項の取り扱い方、歌唱・器楽・創作・鑑賞指導における系統性、主体的・対話的で深い学びの実現に資するための学習内容や紙面構成の工夫等について協議した。 <p>□7月11日に調査研究結果について、確認を行った。</p>
2. 調査研究の具体的資料	<ol style="list-style-type: none">1 教科書編修趣意書2 採択参考資料3 学習指導要領解説4 その他 (内容解説資料)
3. 少数意見等	

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1学年・音楽	音楽103	小学音楽 おんがくのおくりもの1
		第2学年・音楽	音楽203	小学音楽 音楽のおくりもの2
		第3学年・音楽	音楽303	小学音楽 音楽のおくりもの3
		第4学年・音楽	音楽403	小学音楽 音楽のおくりもの4
		第5学年・音楽	音楽503	小学音楽 音楽のおくりもの5
		第6学年・音楽	音楽603	小学音楽 音楽のおくりもの6
		取扱内容 学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	<p>○学習指導要領の目標や内容に対応した題材が、系統性と発展性をもって組織され、その題材を軸に教材が配置されている。</p> <p>○各学年の領域や分野ごとの系統性に基づいて教材が配置され、発達段階に応じた無理のないステップアップや学力の定着に配慮されている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びを実現するために、学習のねらいと学び方が示されると共に、題材ごとの学習の見通しも示され、児童が見通しを持って主体的に学んだり、学習を深めたりできるように配慮されている。</p> <p>○児童一人一人が音楽的な見方・考え方を働かせながら創意工夫していける様な学習活動が配置されている。</p> <p>○我が国の伝統音楽や音楽文化について、学習内容に即し題材中で扱われているほか、歌詞から想像される季節感や情景を重視した扱いができるように配慮されている。</p>	
排内 列容 の 分構 量成 等	<p>◎内容の構成・排列について</p> <p>1.2年生～いろいろな太鼓の音を楽しむ学習の後に、おまつりの音楽をつくる学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。</p> <p>3.4年生～音の動き方を生かして旋律をつくる学習の後に、旋律の特徴を生かして歌う学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。</p> <p>5.6年生～日本の民謡を調べる学習の後に、旋律の感じを生かして民謡を歌う学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。</p> <p>◎分量について（5学年以外の学年で3～5%増）</p> <p>1年～歌唱教材数46、器楽教材数14、音楽づくり教材数15、鑑賞教材数14、総頁82</p> <p>2年～歌唱教材数50、器楽教材数18、音楽づくり教材数14、鑑賞教材数14、総頁82</p> <p>3年～歌唱教材数52、器楽教材数33、音楽づくり教材数11、鑑賞教材数13、総頁86</p> <p>4年～歌唱教材数47、器楽教材数18、音楽づくり教材数9、鑑賞教材数19、総頁88</p> <p>5年～歌唱教材数52、器楽教材数20、音楽づくり教材数6、鑑賞教材数11、総頁88</p> <p>6年～歌唱教材数47、器楽教材数23、音楽づくり教材数5、鑑賞教材数13、総頁88</p>			

<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<p>◎ 折り込みを使ったワイドな誌面で、歌詞に忠実な写真を掲載したり(第3～6学年)、即興的に表現する活動を取り入れたり(第1,2学年)するなど、児童の学習意欲を高め、楽曲のイメージを広げる工夫がなされている。</p> <p>◎ 巻頭に「学習マップ」を掲載し、各題材で学習する内容を順を追って解説し見通しを持たせたり(全学年)、「学習の進め方」コーナーを設け、それぞれの学習の目的や留意点を簡潔に示したり(第3～6学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>◎ ユニバーサルデザインフォントを使用したり(全学年)、他教科と関連する教材として「ショートタイムラーニング」を掲載したり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、旋律の動きを捉えることができる動画やリコーダーの基礎を学ぶ動画を活用できるようにする(第3～6学年)など、使用上の便宜が図られている。</p> <p>◎ 楽譜が見やすい大きさに掲載されていたり、作詞・作曲者にルビが振ってあるなど、ユニバーサルデザインを意識した掲載内容である。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>◎ 学習者用のデジタル教科書の発行が予定されている。 ※小学校用教科書目録(令和6年度使用 文部科学省)による</p> <p>◎ SDGsに関連する教材を掲載している。</p>

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	27・教芸	第1学年・音楽	音楽104	小学生のおんがく1
		第2学年・音楽	音楽204	小学生の音楽2
		第3学年・音楽	音楽304	小学生の音楽3
		第4学年・音楽	音楽404	小学生の音楽4
		第5学年・音楽	音楽504	小学生の音楽5
		第6学年・音楽	音楽604	小学生の音楽6
		取 扱 内 容	<p>○学習指導要領の目標や内容に対応した題材が、系統性と発展性をもって組織され、その題材を軸に教材が配置されている。</p> <p>○各学年の領域や分野ごとの系統性に基づいて教材が配置され、発達段階に応じた無理のないステップアップや学力の定着に配慮されている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びを実現するために、学習のねらいと学び方が示されると共に、題材ごとの学習の見通しも示され、児童が見通しを持って主体的に学んだり、学習を深めたりできるよう配慮されている。</p> <p>○児童一人一人が音楽的な見方・考え方を働かせながら創意工夫していける様な学習活動が配置されている。</p> <p>○我が国の伝統音楽や音楽文化について、学習内容に即し題材中で扱われているほか、歌詞から想像される季節感や情景を重視した扱いができるように配慮されている。</p>	
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				
排 内 列 容 の 分 構 量 成 等	<p>◎内容の構成・排列について</p> <p>1.2年～いろいろな楽器の音から好きな音を探す学習の後に、音を重ねて音楽づくりをする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。</p> <p>3.4年～旋律の特徴を感じ取って聴く学習の後に、旋律の特徴を生かして歌う学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。</p> <p>5.6年～日本の旋律の美しさを味わいながら歌う学習の後に、日本の民謡を調べる学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。</p> <p>◎分量について（各学年とも増減なし）</p> <p>1年～歌唱教材数38、器楽教材数29、音楽づくり教材数8、鑑賞教材数19、総頁82</p> <p>2年～歌唱教材数51、器楽教材数23、音楽づくり教材数8、鑑賞教材数18、総頁82</p> <p>3年～歌唱教材数37、器楽教材数32、音楽づくり教材数6、鑑賞教材数17、総頁86</p> <p>4年～歌唱教材数40、器楽教材数24、音楽づくり教材数8、鑑賞教材数17、総頁86</p> <p>5年～歌唱教材数38、器楽教材数17、音楽づくり教材数6、鑑賞教材数23、総頁86</p> <p>6年～歌唱教材数39、器楽教材数18、音楽づくり教材数4、鑑賞教材数13、総頁86</p>			

<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<p>◎学習をサポートする写真やイラストを掲載したり（第3～6学年）、ナビゲーターのキャラクターを取り入れたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。また、学習活動の示し方を共通したマークで表し（全学年）、学習活動への見通しが持ちやすくなっている。</p> <p>◎巻頭に「学習マップ」を掲載し、1年間で学習する内容の見通しを持たせたり（全学年）、巻末に「ふり返りのページ」を掲載し、学習した内容を振り返ることができるようにしたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>◎ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）、外国語活動と連携した平易な英語歌詞の歌を掲載したり（第3～6学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、タブレット端末で学習するコンテンツ（ムーブの部屋）にアクセスし、参考となる音源や資料を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。また、参考音源の数が多く、児童の個別最適な学びのサポートが図られている。</p> <p>◎題材やねらいを左端、二次元コードは右上隅に統一し（全学年）、「何を目標に」「どのような活動を通して」「何を学ぶのか」がわかりやすく示されている。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>◎学習者用のデジタル教科書の発行が予定されている。 ※小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による</p>